

外国籍生徒の高校進学について



NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ(ME-net)
事務局長 高橋 清樹

2025年12月21日外国籍県民会議



P.8

神奈川県公立高校入試「特別募集」

【志願資格】

ABCは一般受検の志願資格

ざいけんがいこくじんとうとくべつほしゅう
在県外国人等特別募集

ぼしゅう こうこう
募集する高校は
ぜんにちせい こう ていじせい こう
全日制15校、定時制4校

ABC (定時制はABD) に加えて、EとFにあてはまる人

E 入国後の在留期間が2025年2月1日現在で通算6年以内
の人 (小学校入学前の在留期間を除く。)

F 外国籍を持っている人または日本国籍を取得して6年以内
の人 (2025年2月1日現在)

【試験内容】

国語、数学、英語(一般募集と同じ問題でルビ付き1教科50分)
及び、面接(日本語による)

【特徴】

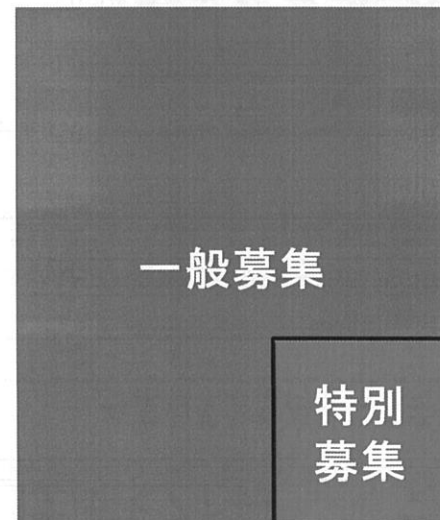
原則、定員内では不合格者を出さない。

合否基準が明確(学力検査と面接で得点割合を決め、高い順
に合格する)

神奈川県公立高校入試の概要

① 共通選抜(2月)

全ての高校で実施



② 共通選抜2次(3月)

定員を満たさなかった
高校(全日制+一部定時制)
一般募集

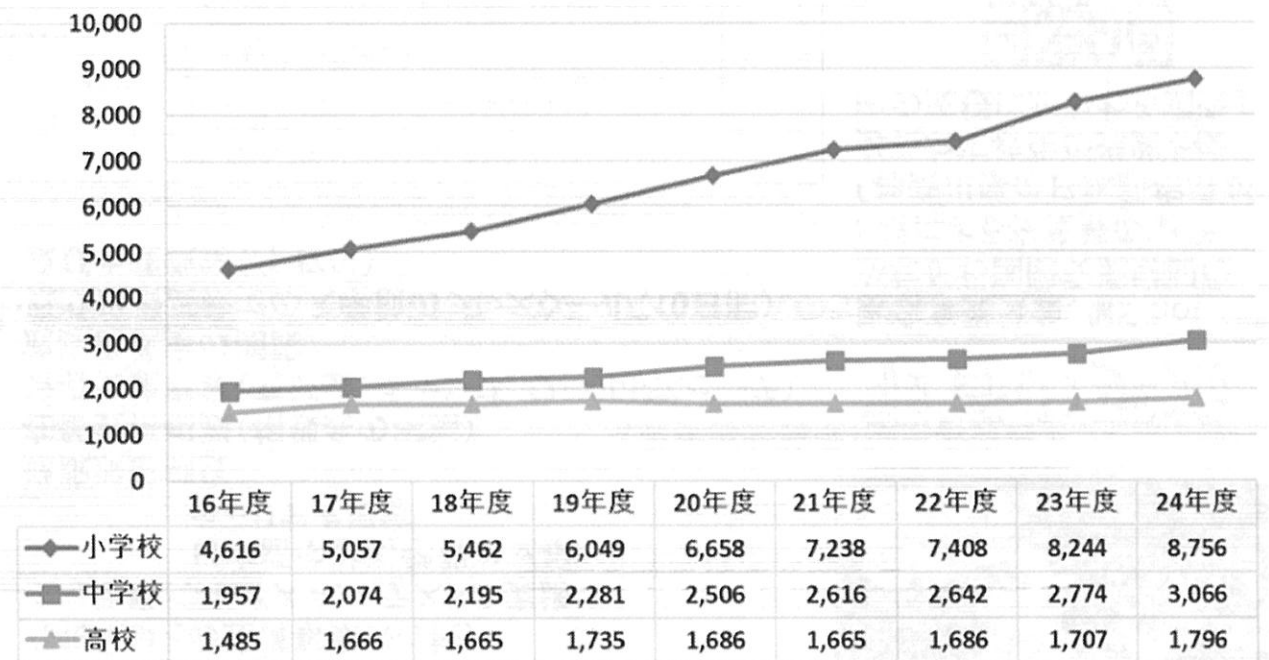
③ 定通分割選抜(3月)

夜間定時制+通信制
一般募集

不合格者
に対して

1校の1コースのみを受検。受検の機会は3回。

神奈川県の外国人児童生徒数の推移(公立+私立)

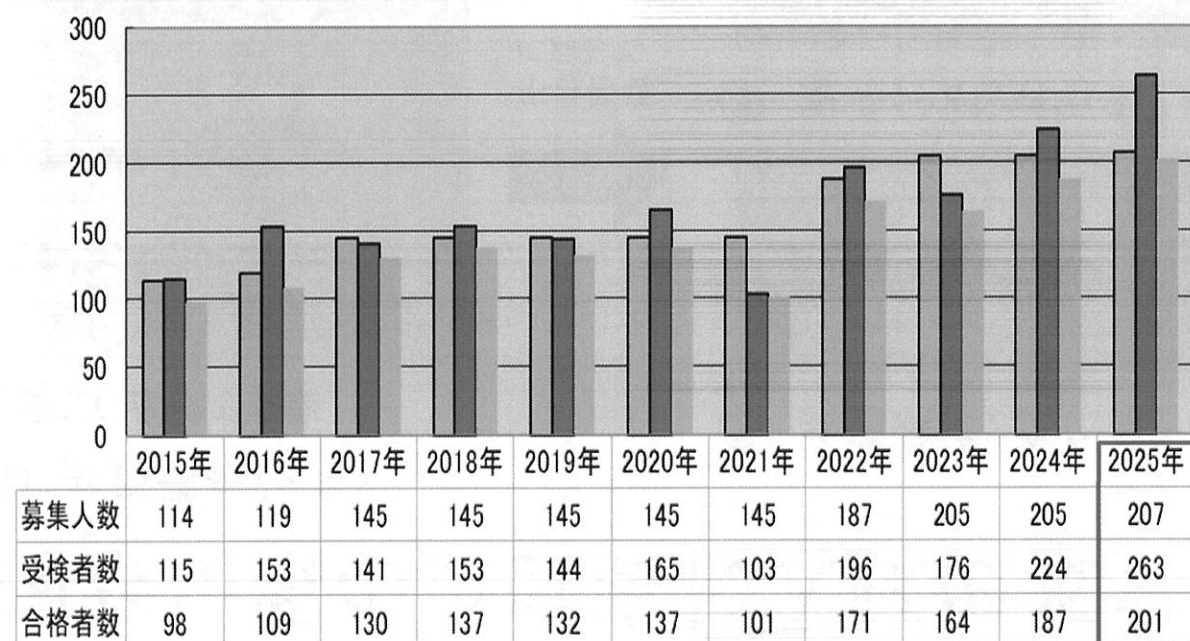


日本語指導が必要な生徒の言語(2022年度の多文化教育コーディネーター派遣
校の在籍者685名中)

①中国語(280)、②フィリピン語(128)、③ネパール語(59)、④スペイン語(46)
⑤ベトナム語(37)、⑤ポルトガル語(37) ...言語の総数30

「在県外国人等特別募集の受検状況」

神奈川県公立高校入学者選抜「在県外国人等特別募集」の推移



神奈川県公立高校入試の推移と来年度入試

2022年度

- ・在県募集が13校→18校（定員187名に）
- ・滞日通算期間が3年以内→6年以内に（日本国籍の取得も6年以内に）

2023年度

- ・在県募集が18校→20校（定員205名に）

2024年度

- ・共通選抜にインターネット出願導入
- ・共通の検査で面接を実施しない。（特色検査で面接を実施する高校もある）
- ・ただし、在県募集は面接実施
- ・定通分割選抜の2次募集を実施しない。

2025年度

- ・在県募集が20校→19校（定員207名に）

2026年度

- ・在県募集が19校→20校（定員257名に）
- ・夜間定時制6校、募集停止

※ 在県募集＝「在県外国人等特別募集」

入学後の支援

- ・多文化教育コーディネーター・サポーターの配置（ME-netとの連携事業：31校）
主な活動：プレイスメントテストの実施
日本語や教科学習の支援
キャリア支援等
- ・通訳派遣制度
- ・在留資格相談（相談会の実施）
- ・若者交流事業（交流会、キャンプ、ワールドスピーチ）
- ・放課後教室の開設
県立川崎高校での入学前のプレスクール（10日間）
及び土曜教室（年47日）



調査の実施

県教育委員会、ME-net
かながわ国際交流財団の
3者による在籍等の調査
「神奈川県の日本語指導が
必要な高校生の進路と校
内の支援にかかわる調査」



表3-5 神奈川県及び全国の単年度での中途退学率

日本語指導が 必要な生徒	神奈川県立高校全日制（本調査より算出）	3.8%
	神奈川県立高校定時制・通信制（本調査より算出）	7.2%
	全国の高校（文科省調査2021）	6.7%
高校生全体	神奈川県立高校全日制（県調査2020～2022平均）	0.9%
	神奈川県立高校定時制（県調査2019～2022平均）	9.2%
	全国の高校（文科省調査2021）	1.0%

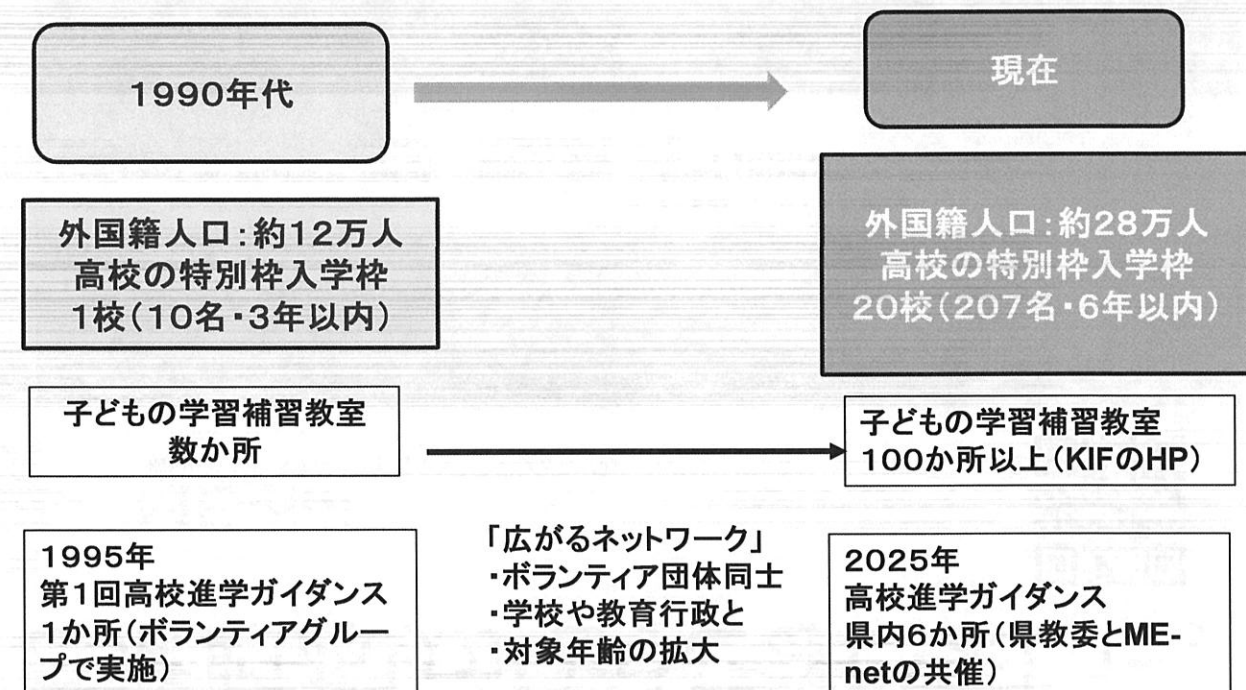
ME-netの「ガイダンス特設ページ」



ME-netの歴史

- ・1995年にボランティア団体として設立
 - ・活動先行型＝高校進学ガイダンスの実施のための組織として設立
 - ・高校教員グループ＋支援者グループ
 - ・ゆるやかなネットワーク＝「多文化共生」を意図して活動
- ↓
- ・2006年に高校進学ガイダンスが神奈川県教育委員会との協働事業に(かながわボランティア活動推進基金21による)
- ↓
- ・2011年により神奈川県教育委員会との協定により4事業が協働事業に(ガイダンス・ガイドブック・コーディネーター派遣・ネットワーク会議)

現在への進化



神奈川の歴史

1990年代から...

- ▶ 様々な国から来た外国につながる人たちが暮らす
特色ある「ローカルコミュニティ」の形成(例: いちよう団地)
- ▶ 様々なボランティア団体の誕生
助成金制度(県基金21、KIF等)が後押し
- ▶ 地域と学校をつなぐネットワークの構築
国際交流協会・国際交流ラウンジ・大和定住センター等

高校入試全国調査から 見えること

高校入試全国調査 の概要(2024調査)



ブロック	自治体名	A 2023外国人中学・高校生の在籍数 (文部科学省学校基本調査)					措置	条件 年数	国籍要件	内容	枠	条件年数
		中学国 公立	高校国 公立	国公立の 高校/中 学の割合	私立 高校							
① 北海道東北	1 北海道	196	45	23%	53	△	なし	なし	なし	個々の状況に応じて協議	×	
	2 青森県	28	10	36%	14	△	なし	なし	なし	海外経験者優先選抜	×	
	3 岩手県	18	6	33%	8	○	3年未満	なし	なし	個別に対応	×	
	4 宮城県	95	21	22%	140	○	なし	なし	なし	教科数減、時間延長	×	
	5 秋田県	14	5	36%	4	○	3年未満	外国籍生徒	事前面接・作文実施の上、時間延長等の配慮	×		
	6 山形県	37	3	8%	12	△	なし	なし	なし	個別判断	×	
	7 福島県	77	25	32%	12	×					○定員外	6年以内
② 関東	8 茨城県	963	605	63%	232	○	3年以内	外国籍生徒	教科数減(英数英)+面接 (全ての県立高校でルビ振りを導入)		○定員内	3年以内
	9 栃木県	574	122	21%	64	○	3年以内	なし	なし	ルビ振り、国数英、作文・面接	×	
	10 群馬県	1,083	584	54%	156	○	6年以内	なし	なし	科目減(数学・英語)+作文・面接	×	
	11 埼玉県	2,758	429	16%	167	×					○定員内	通算3年以内
	12 千葉県	2,018	344	17%	351	○	3年以内	日本語指導が 必要な者	ルビ振り		○定員内	3年以内
	13 東京都	4,311	1,474	34%	1,298	○	①6年以内 ②3年以内	なし	なし	①②ともルビ振り ②は辞書持込み・時間延長	○定員外	3年以内
	14 神奈川県	2,685	1,553	58%	154	○	6年以内	なし	ルビ振り、時間延長、わかりやすい日本語での面接		○定員外	通算6年以内 就学前除く 海外2年以上、 入国が2年以内
③ 北陸甲信越	15 新潟県	108	22	20%	155	×					△定員外	
	16 富山県	263	44	17%	69	○	6年以内	外国籍生徒	ルビ振り		×	
	17 石川県	101	40	40%	82	○	3年未満	なし	なし	ルビ振り	○定員外	3年未満
	18 福井県	145	88	61%	12	○	2年以内	なし	なし	国数英・面接	○定員内	なし
	19 山梨県	229	117	51%	170	×					○定員外	7年以内
	20 長野県	476	265	56%	200	○	3年以内	なし	なし	時間延長、ルビ振り 国・社を作文・面接で代替	×	

高校入試制度の2極化

項目	A県	神奈川・大阪・東京
特別措置或いは特別枠	どちらかあり	両方あり
定員内不合格	あり	なし
入試の選考基準	非公開	公開
特別枠の定員等	特別枠がない或いは 非公開・若干名など不明	公開
合格者数	非公開	公開
入学後の支援	なし	あり

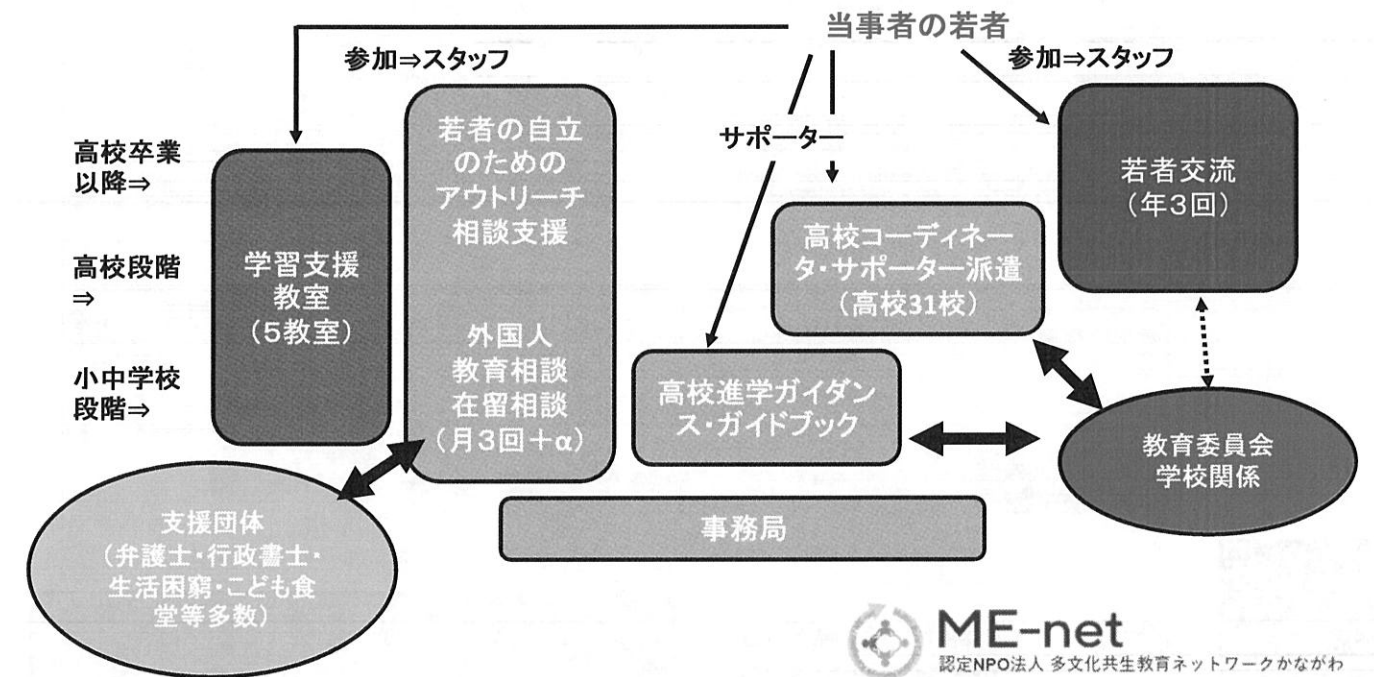
高校入試制度のあるべき姿

日本語によらない子どもの能力・興味・意欲を図る入試

日本語指導が必要な生徒のための特別入学枠の設置

高校入学後の日本語と母語の教育の保障

ME-netのネットワーク図



ご清聴ありがとうございました。

ME-net
認定NPO法人 多文化共生教育ネットワークかながわ

